

特集

術後重大合併症 これだけは知っておきたい 緊急処置法

手術は安全性が最も重要であることは言うまでもないが、合併症ゼロということもあり得ない。特に近年は重篤な併存症を有する患者や予備力の低下した高齢者、術前治療後の高難度手術などの増加に伴い、危険な術後合併症は逆に増えているかもしれない。術後合併症のなかでもICU管理を要する、生命を脅かす合併症（中枢神経系の合併症を含む）はClavien-Dindo分類のⅣに分類される。これらは発症後数時間以内に対応しなければ患者の生命が危険にさらされるため、特段の注意が必要である。一方でこれらの合併症は、各施設における発生頻度は高くないため「慣れる」ということはあり得ず、施設を越えて必要十分な最新の知識と経験を共有しておく必要がある。本特集では、救命のために「これだけは押さえておきたい」最新の合併症対策を論じていただいた。